A05 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたPISA型読解力研究講座

講　座　の　目　的	対象と定員
PISA型問題の分析やワークショップを通して、PISA型読解力についての理解を深めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえ、発問を軸にした授業づくりの研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。	16名 （中・高16名・特支）

期　日	研　修　内　容
平成31年10月8日（火）～9日（水）	○PISA型読解力の基礎的理解 ○PISA型読解力を高める授業づくり ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、発問を軸にした授業改善の考察　等

担当者からのメッセージ

PISA型読解力について理解を深め、発問の精選による授業改善を目指します

「そもそもPISA型読解力って何？」という素朴な疑問から、「PISA型読解力に基づいた授業はどう展開すればいいのかしら？」という具体的な悩みまで、解決への糸口が本講座で必ず見いだせるはずです。

福島大学特任教授　髙橋正人先生による「ワークショップ」、「講義」を通して、PISA型読解力の視点を踏まえた、魅力ある国語科の授業づくりを考えます。

平成30年度受講者（講座名：アクティブ・ラーニングにつながるPISA型読解力研究講座）の感想

- 演習やワークショップの中で悩むことや難しいと感じることもあったが、PISA型読解力の視点を、どのように授業に反映すればよいのかがわかり、とても勉強になった。
- 現状のままではいけないという焦りを感じられた点がよかった。論理の組立ての捉え方や声かけの方法等、今できるところから取り組まなければいけないと思った。
- 定番教材を対象に発表・協議をする中で、「私もこんな授業をしてみたい」と思うものがたくさんあり参考になった。